火の如き

造船戦士の歌

今井[illegible]園

産業戦士として今や最も大な任務を負うてゐるのは、造船の事に携はる人々である。その人々が灼熱せる気魄を打込んで、造船を結成する努力の現はれは、その事に直接携はる戦士自身でなければならぬ。さうしてその事実を直感する火の如き歌によつて、その胸臆より迸り出づる實感を披瀝せるものでなければならぬ。ただにこれに関する歌を紹介し、血みどろになつて努力する産業戦士を讃へたく思ふ。作者は現に日立造船株式会社に勤務し勇敢なる戦士として日夜奮闘してやまぬ山中秀男君である。同君は[illegible]は浅いが、その業務に現はれて歌に指を染める熱烈なる精神は、歌に描かれ、著しき進展を見せてゐるのである。こうした特に精力を注らせる船体建造中の数首を挙げて見よう。

天上にひびきとよもす巨船の鋲を打つ音